

製品概要 適合器具は商品仕様図、カタログなどでご確認ください。

名称	形式	仕上色	推奨ケーブル	適合ケーブル仕上外径	質量
スパイク	CF-LEDS-01S	ブラック	2PNCT 0.75 mm ² 3心	Φ6~Φ11	1.5kg

●器具の配線工事は必ず工事店、電器店(有資格者)などに依頼してください。一般の人の配線工事は法律的に禁止されています。

施工者様への安全上のご注意

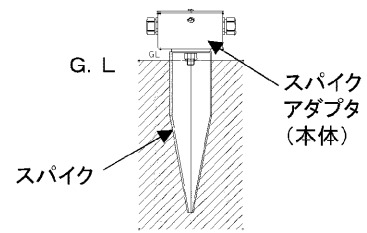
・お読みになったあとは、この「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。

<p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●取付けは適合器具の取扱説明書及び取付工事方法に従い確実に行ってください。不確実な取付けをしますと火災・感電・器具落下転倒によるけがのおそれがあります。 ●接地工事は電気設備技術基準に従い、D種(第三種)接地工事を確実に行ってください。接地が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。 ●器具を改造・分解しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ●次のような場所には取付けしないでください。 器具転倒によるケガや故障及び水や湿気による感電や漏電、火災のおそれがあります。 ○地中差込以外の場所 ○地盤の弱い場所 ○雨水が地表面にたまる場所や雪で器具が埋没する場所 ○湿度(85%以上)の高い場所 ○窪地や冠水のおそれがある場所 ●設置の際、垂直以外の向きに取付けしないでください。器具の取付面が水平になるように取付けてください。防水性能が保てず絶縁不良による火災・感電のおそれがあります。 ●適合器具口出線との接続は、スリーブなどにより確実にを行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理を行ってください。不備があると感電の原因となります。 	
<p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●腐食性ガスが発生する場所や充満する場所、塩害が想定される場所やプールなど塩素ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・転倒によるけがの原因となることがあります。 ●振動や衝撃のある場所、腐食性雰囲気のある場所では使用しないでください。火災・感電・転倒によるけがの原因となることがあります。 ●電源電圧が器具の定格電圧と一致していることを確認して取付けてください。誤った電源電圧で使用すると、器具の故障により火災・感電の原因となることがあります。 ●周囲温度は5℃~35℃の範囲でご使用ください。温度が高いところで使用すると火災・感電の原因となることがあります。 	

器具部品の名称・取付工事方法

取付け場所の確認

- スパイクは土壌のしっかりした場所へ設置してください。
- 砂地など土壌の柔らかい場所に設定する場合は、コンクリートなどでスパイクの埋込部分を補強してください。
- G.L位置表示ラベルまで埋込んでしっかり固定してください。
※土質の柔らかい場所や不安定な所へ埋込むと器具の転倒や器具の破損、火災の原因となります。
- スパイクアダプタ(本体)下面の水抜穴をふさがないように設置してください。水が抜けず絶縁不良による火災・感電のおそれがあります。



<p>スパイク各部の名称</p> <p>[第1図]</p>	<p>スパイク取付方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 取付ねじ2本をはずしアダプタを本体から取外してください。 2. スパイクに付属の六角ボルト(M10)と歯付座金を取外し、本体の穴を通してスパイクのねじ部に締込んでください。この時、本体のスパイク取付ガイドに沿って取付けてください。(締付トルク: 10~15N・m) 3. スパイクをG.L位置表示ラベルまで確実に埋込んでください。また、窪地や冠水のおそれのある場所には取付けしないでください。 ※ 柔らかい土質の場合は、コンクリートなどで補強し使用中に倒れないようにしてください。不備があると、『けが』や火災、感電事故の原因となります。 4. ケーブルグラウンドを緩め、適合の電源ケーブルを通してください。 5. (照明器具の取付方法)を参考に照明器具取扱説明書に従い、照明器具を取付け、電源線及びアース線の配線を行ってください。また、電源線は自己融着テープなどを使用し、確実に防水処理を行ってください。 ※必ず、照明器具アース端子及びスパイク器具アース線を接続し、D種接地工事を行ってください。 6. 本体内の余分な電源ケーブルを引出しケーブルグラウンドで確実に固定し、結線部に張力がかからないようにしてください。 7. 取付ねじ2本を使用してアダプタをアダプタ本体に取付けてください。この時、電線の挟み込みがないか確認してください。
--------------------------------------	--

裏面もかならずお読みください。

照明器具の取付方法

- スパイク器具の取付方法1-4の手順で施工を行ってください。
- 取付板を付属器具取付ねじ(2本)を利用して付属防水付バックシンを図2の位置に合せて挟み、アダプタに確実に取付けてください。【第4図】(照明器具に付属のバックシンは使用せず、スパイクアダプタ付属の防水バックシンを使用する)
- 取付板とアダプタの電源穴に口出線を通し、本体取付ナット(2個)で器具を取付けてください。
- 電源線と口出線(外被40mm程度にする)を接続してください。【絶縁防水処理】の様に口出線との接続は、スリーブなどにより確実に、自己融着テープを巻いてから絶縁テープを巻上げ、十分に絶縁、防水処理をしてください。その際、必ずスパイクのアース線と、器具口出線にD種接地工事を行ってください。
- 電源ケーブルの外部被覆部が10mm程度スパイクアダプタ内に入った状態まで外に引き出し、結線部に張力が加わらないようにケーブルグランドで固定してください。
- 照明器具の取付いたスパイクのアダプタをアダプタ本体に取付けてください。この時、電源線や口出線を挟みこまないように確認してください。
- 照明器具の調整、取扱いは照明器具の取扱説明書をご確認ください。

[第4図]取付面

外被40mm
自己融着テープ
絶縁テープ
アダプタ本体
スパイク付属アース線
2-取付ねじ

外被と心線間からの器具内浸水防止のため、自己融着テープの上に絶縁テープを巻きつけ防水処理を行ってください。

⚠ 絶縁・防水処理方法

- 結線部分に自己融着テープ(別途)を巻きつけて絶縁処理を行った後、絶縁(ビニル)テープ(別途)を巻きつけて防水処理を行ってください。
- 右図の様に挿み配線を行う際には電線の間にも防水処理を行ってください。

※防水処理が不十分な場合、水分の浸入により器具故障の原因となることがあります。

電線の間から水の浸入が無いように処理

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料: 無料)
 携帯電話 046-862-2772 (通話料: 有料)
 FAX 0570-000-661 (通話料: 有料)
 ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

● お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
 ● 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供することがあります。

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。修理が故障されるときは『修理サービス規程』をご覧ください。ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または弊社ご相談センターにお問い合わせください。その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。

メーカー保証規程: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm
 修理サービス規程: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

メーカー
保証規程



修理
サービス規程



東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

LLPM01149